※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次 （普通科）
使用教科書	高等学校「新地理総合」　（帝国書院）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化や情報化などの急激な社会の変化を地理的な視点でとらえ、社会を形成するために必要な資質・能力を身につけてくれることを期待する。また、持続可能な社会づくりに向けて、資料の活用や事例探究などをつうじ、主体的に解決策を考えて実践する態度を養う。

２　学習の到達目標

①地図や地理情報システムから情報を読み解き現代社会への理解を深める
②地理にかかわる諸事象の意味や特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向けて構想する力を養う
③よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究する態度をみにつける

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題の取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身につく	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力がある。	地理にかかわる諸事象について、持続可能な社会の実現を視野に、諸課題を主体的に追究、解決しようとする態度が身についている。 また、多面的な考察を通じて日本国民としての自覚や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて理解している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	a:さまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 b: 地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート ワークシート	レポート 発表
	結びつきを深める世界	・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	a: 現代世界のさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b: 現代世界の地域構成について，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	レポート 発表
2学期	生活文化の多様性と国際理解	・生活文化の多様性 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活	a: 世界の人々の特色ある生活文化が地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

			b: 世界の人々の生活文化について，その特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
	地球的課題と国際協力	・複雑に絡み合う地球的課題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題	a:地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解している。 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b:地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 調べ学習	レポート 調べ学習 発表

※令和４年度以降入学生用

3学期	自然環境と防災	・日本の自然環境と防災 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 自然災害への備え	a:地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b: 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート グループワーク	レポート グループワーク 発表
	生活圏の調査と地域の展望	・生活圏の調査と地域の展望	a: 生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b: 生活圏の地理的な課題について，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度